

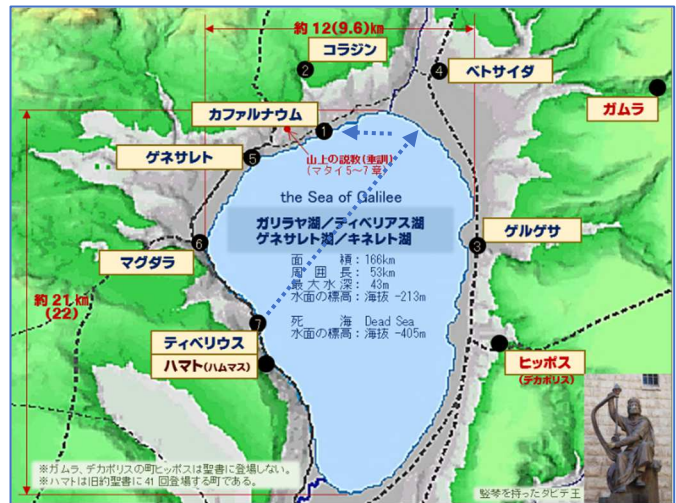
085 天から下った命のパン(1)

ヨハネによる福音書 6 : 22~35

22 その翌日、湖の向こう岸(④ベトサイダ)に残っていた群衆は、そこには小舟が一そうしかなかったこと、また、イエスは弟子たちと一緒に舟に乗り込まれず、弟子たちだけが出かけたことに気づいた。

23 ところが、ほかの小舟が数艘⑦ティベリアスから、主が感謝の祈りを唱えられた後に人々がパンを食べた場所(④ベトサイダ)へ近づいて来た。

→ティベリアス(ティベリウス)は、ヘロデ・アンティパスが皇帝ティベリウス・カエサルを称えるためにAD25年頃に造った町である。



24 群衆は、イエスも弟子たちもそこ(④ベトサイダ)にいないと知ると、自分たちもそれらの小舟に乗り、イエスを捜し求めて①カファルナウム(マタイ 14 : 34、マルコ 6 : 53 では⑤ゲネサレト)に来た。

25 そして、湖の向こう岸でイエスを見つけると、「ラビ(=先生→直訳は、「私の偉い人」：ユダヤ教の宗教的指導者、学者)、いつ、ここ(①カファルナウム)においでになったのですか」と言った。

26 イエスは答えて言われた。

「**はっきり言っておく**(=アーメン、アーメン)。あなたがたがわたしを捜しているのは、しるし(→奇跡=セメイオン：ギリシア語)を見たからではなく、(タダの)パンを食べて満腹したからだ(→肉の動機⇔霊的動機)。27 朽ちる食べ物のためではなく、いつまでもなくならないで、**永遠の命に至る食べ物**(→霊的食物=神の言葉)のために働きなさい。これこそ、人の子があなたがたに与える食べ物である(リビング・バイブル：それこそ、メシヤ[救い主])のわたしが与えるものです)。父である神(→神性宣言)が、人の子を認証されたからである(リビング・バイブル：そのために、父なる神はわたしをお遣わしになったのです)。」

→「はっきり言っておく」は聖書(新約のみ)に74回(マタイ：30回、マルコ：13回、ルカ：6回、ヨハネ：25回)登場する(→別紙資料「はっきり言っておく」[PDF版]を参照)。

28 そこで彼らが、「**神の業を行うためには、何をしたらよいでしょうか**」と言うと、

29 イエスは答えて言われた。「**神がお遣わしになった者**(→イエス・キリスト)を信じること、それが神の業である。」

30 そこで、彼らは言った。「それでは、わたしたちが見てあなたを信じるができるように、どんなしるしを行ってくださいますか。どのようなことをしてくださいますか。31 わたしたちの先祖は、**荒野でマンナ**(→荒野で神は奇跡を起こし、イスラエルの民に天からパン[マンナ]を与えた)を食べました。『**天からのパンを彼らに与えて食べさせた**』と書いてあるとおりです。」

→出エジプト記 16 : 4

主はモーセに言われた。「見よ、わたしはあなたたちのために、**天からパン**を降らせる。民は出て行って、毎日必要な分だけ集める。わたしは、彼らがわたしの指示どおりにするかどうかを試す。

→出エジプト記 16 : 15

イスラエルの人々はそれを見て、これは一体何だろうと、口々に言った。彼らはそれが何であるか知らな

かったからである。モーセは彼らに言った。「これこそ、主があなたたちに食物として与えられたパンである。

→ネヘミヤ記 9 : 15

彼らが飢えれば、天からパンを恵み／渴けば、岩から水を湧き出させ／必ず与えると誓われた土地に行って／それを所有せよと命じられた。

→詩編 78 : 24～25

彼らの上にマナを降らせ、食べさせてくださった。神は天からの穀物をお与えになり／人は力ある方のパンを食べた。神は食べ飽きるほどの糧を送られた。

→詩編 105 : 40

民が求めると、主はうずらをもたらし／天のパンをもって彼らを満足させられた。

32 すると、イエスは言われた。

「はつきり言っておく。モーセが天からのパンをあなたがたに与えたのではなく、わたしの父（→神性宣言）が天からのまことのパン（→イエス・キリスト）をお与えになる。33 神のパンは、天から降って来て、世に命を与えるものである。」

34 そこで、彼らが、「主よ、そのパンをいつもわたしたちにください」と言うと、

35 イエスは言われた。「わたしが命のパンである。わたしのもとに来る者は決して飢えることがなく、わたしを信じる者は決して渴くことがない。

→イエスは自身を、天からの賜物として降らせたマンナになぞらえた。神はイスラエルの民にマンナを授けたように、命をもたすイエスを遣わした。

【参考】イエスの8つの自己宣言

< 1 > ヨハネによる福音書 6 : 35→6 : 48、51

わたしが命のパンである。

わたしのもとに来る者は決して飢えることがなく、わたしを信じる者は決して渴くことがない。

< 2 > ヨハネによる福音書 08 : 12→9 : 5

わたしは世の光である。わたしに従う者は暗闇の中を歩かず、命の光を持つ。

< 3 > ヨハネによる福音書 10 : 7→10 : 9

わたしは羊の門である。

< 4 > ヨハネによる福音書 10 : 11→10 : 14

わたしは良い羊飼いである。良い羊飼いは羊のために命を捨てる。

< 5 > ヨハネによる福音書 11 : 25

わたしは復活であり、命である。わたしを信じる者は、死んでも生きる。

< 6 > ヨハネによる福音書 14 : 6

わたしは道であり、真理であり、命である。

わたしを通らなければ、だれも父のもとに行くことができない。

< 7 > ヨハネによる福音書 15 : 1→15 : 5

わたしはまことのぶどうの木、わたしの父は農夫である。

< 8 > ヨハネの黙示録 22 : 13

わたしはアルファであり、オメガである。最初の者にして、最後の者。初めであり、終わりである。